

## (2) やさしいまちづくり教室

やさしいまちづくり教室は社会福祉協議会の事業で、手話や点字、車いす等の、体験や講話を通じて『障がいのある方への理解』について、自ら学び自ら考える力を育てることを目的に開催している。

その中の手話教室について、市とタイアップするかたちで開催し、毎年、福祉協力校や児童センターに、講師と手話通訳者が出向き手話の指導にあたっている。

### 【令和3年度 やさしいまちづくり教室（手話教室）】

○参加校：3校（作見3年生、橋立4年生、勅使4年生）

○児童数：83名（作見54（27+27）名、橋立16名、勅使13名）

※作見小学校は、1学級ずつ2日間に分けて開催

○講習日程：2コマ1回

○実施期間：令和3年9月～令和4年1月

### 【実施した学校からの声】

（子どもたちの感想）

- ・耳の聞こえない人に会ったら手話で話したい。
- ・手話通訳の仕事をしたかった。

（先生の感想）

- ・手話を通じて、耳の聞こえない人に伝えるにはどうしたらよいか、子どもたちが考える姿がよかった。
- ・手話は、心と心が通じ合い、伝える言葉なのだった。